

月刊

各務原市議会議員 大竹 大輔

— いつまでも 住み続けたいまち かかみがはら! —

バンブーレター

令和
7年

6月号

発行人
大竹大輔を育てる会



6月挨拶 ～恵みの雨に感謝です～



紫陽花が雨に映える季節となり、街のあちこちに初夏の彩りを感じる頃となりました。

まだまだ、朝晩は涼しさを感じることもありますが、昼間は日ごとに暑さが増して参りました。皆さまいかがお過ごしでしょうか。

さて6月5日より、令和7年各務原市議会第2回定期例会が開催されており、予算の補正や条例の改正など、重要な案件が上程されています。

本期定期例会も市民の皆さんから寄せられた声や日々の課題を議会に反映させ、より良いまちづくりになげ、私も一議員として、真摯な姿勢で議論に臨んで参ります。

また、引き続き、子育て支援や高齢者福祉、防災対策、地域の活性化など、さまざまな課題にひとつひとつ丁寧に向き合い、「いつまでも住み続けたいまち、かかみがはら」の実現に向けて、引き続き全力で取り組んで参りますので、今後とも、皆さまからのご意見、ご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

それでは、梅雨の時期は体調崩しやすくなりますので、くれぐれもお身体にはお気をつけてお過ごしください。



市政を問う!



『一般質問の「質問内容」も今後はホームページに掲載!』
バンブーレター5月号にて、令和7年第一回定期例会での一般質問をご報告させていただきましたが、会報での一般質問の報告は答弁内容の報告が主となつておらず、質問の内容をもう少し詳しく報告して欲しいとご要望をいただきました。
今回の質問から、質問内容も大竹大輔ホームページにて掲載させていただきましたので、是非ご覧下さい。

こちらからご覧下さい。→



12年間の実績
for KAKAMIGAHARA

大竹大輔が全力で取り組む、理想のまちづくり

- 人口が減少しないまちづくり
 - 空き家を有効活用して利活用するシートラベル構造
 - 空き家リペーチョンを活用した若者世代の移住定住促進
 - 子育て世代の移住定住への地域ごと支援の確立
- 全ての世代にやさしいまちづくり
 - 子どもたちを地域ぐるみで見守る体制の強化
 - 市民の足となる公共交通機関の充実、さらなる充実
 - 買い物の窮屈への支援
 - 妊娠、出産をして子育てへの切れ目のない支援
- 未来を担う子どもたちが輝くまちづくり
 - 基礎学力の向上と社会人としての自己に繋がるキャリア教育の充実
 - 障がい児の教育から就労への一貫的支援
 - 各種スポーツ施設の環境整備と開発名の大丸

